

令和6年度・第6回 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和7年3月19日(水曜日)
2. 開催場所 弊社事務局
3. 委員出席 委員総数5名、出席委員数5名
 - (1) 出席委員の氏名 佐々木清、得上成子、中村真弓、山口隆志、松原千尋
 - (2) 欠席委員の氏名
 - (3) 放送事業者側出席者名 放送事業者 越野 操
4. 議題及び議事の概要、審議内容
 - はじめに 放送事業者より挨拶
 - 第1号議案 番組について
 - (1) 審議番組「イブニングライブハッピー868木曜日」について意見交換
 - (2) その他事項
5. 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容
 - (1) 審議事項

(放送担当より) 今回の番組は毎週木曜15時30分から19時まで生放送しているDJ林檎です。今回は2025年1月30日放送をお聴き頂きます。皆様のご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

(番審委員より) 八潮の道路陥没発生から2日後で、下水排水制限、人命救助優先の時期に情報量と、聞き手を安心させる話しぶりはとても素晴らしい。強いて言えば、3時間30分の生放送内の、だいたい何時ごろ八潮関連情報が放送されるのか、言うとならに良い。

(番審委員より) とても聞きやすく好感が持てる話ぶり、そこにユーモアも交えながら飽きさせないけれど、八潮の状況や排水を抑える工夫の話など情報に加えて暮らしのヒントとなり素晴らしい。

(番審委員より) プチ災害と言ったがまさにその通りで、危機感を与えることなく正確な情報を伝えるのが良かった。あえて言うならば、その情報が八潮市の避難している方に向けてなのか、排水制限の地域の方に向けてなのかを、先に言うとなら良い。

(番審委員より) 防災コーナーで三郷市の避難場所を聴いた際に、それまで八潮市関連情報を放送していたので、ところどころ聴いているかたは、三郷も道路陥没で避難場所開設なのかと勘違いしないかがよぎった。こういう時は局が、定例コーナーも八潮の避難所開設に切り替える判断をしてもいいのでは。

(番審委員より) 聴きやすい話し方と声でよかった。ただ、単調なので緩急つけた話し方だとより良い。落ち着いた話し方は聞き手も安心させるので素晴らしい。

(放送担当より)
貴重なご意見ありがとうございました。

(2) その他事項

(放送担当より)

通常放送において何かご意見があれば教えてください。

(番審委員より)

情報収集担当者を決めると、局のスタッフだけでなく全員で動くのが、災害時にはいいのでは。

(番審委員より)

今回の八潮の件で、防災ラジオが活用されたときだった。ほかの生放送で対応していてよい。地域情報を発信するのがコミュニティFM。

(番審委員より)

取材の質と人員不足をうまく補っている。ただ、限界もあるのでやれる範囲でいいと思う。

(番審委員より)

フレンドリーな話しぶりやアナウンサー口調など様々なパーソナリティがいていいと思う。

(番審委員より)

SNSは利用していないのでラジオで臨場感のある情報はありがたい。

(番審委員より)

(放送担当より)

大変貴重なご意見ありがとうございました。

次回は 令和7年 5月14日(水) 10:00～

次々回は 令和7年 7月17日(木) 10:00～

上記の通りご予約ください。

6. 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法 放送事業者が行う放送(放送番組審議会が、必要とした場合に限る。)

当該事項を記載した書面の放送事業者の本社への備置き

放送事業者の電子公告(<https://koshigayafm.co.jp/>)で行なう。

公表の内容 上記1.3の人数及び4から6までの事項

公表年月日 令和7年4月1日

7. その他参考事項

特に無し

令和6年度	株式会社エフエムこしがや	CFM	第6回番審
-------	--------------	-----	-------